

Comparison of durability of treated wood using stake tests and survival analysis

杭試験と生存時間分析による処理木材の耐久性比較

Ikuo Momohara*¹, Sakai Haruko and Yuji Kubo*²

桃原 郁夫*¹・酒井 温子・久保 友治*²

Journal of Wood Science 67:63 (2021)

前報 (Journal of Wood Science 67:44 (2021)) において、木材の素材 (無処理木材) の野外耐久性を評価するにあたり、統計的手法として生存時間分析を導入した。引き続き、本報では、加圧注入処理木材に対して同様の統計手法を試みた。解析には奈良県森林技術センター明日香実験林での杭試験結果も利用した。

その結果、ACQ とよばれる薬剤では吸収量の増加に伴い、耐久性が有意に向上していた反面、薬剤によっては、吸収量が増加しても耐久性に有意差が認められないなど、薬剤の種類や吸収量と処理杭の耐久性との関係を、科学的信頼性をもって説明できるようになった。

キーワード：加圧注入処理木材、野外耐久性、杭試験、生存時間分析

*¹国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

*²株式会社コシイプレザービング

「講座」持続社会での木材の長期使用 4. 木材・木造構造物と劣化微生物

酒井 温子

日本防菌防黴学会誌, 49 (6) , 295-303 (2021)

持続社会での木材の長期使用をテーマに、7名が各担当内容について解説した。このうちの第4回は、木材・木造構造物と劣化微生物について酒井が担当した。木材腐朽を引き起こす担子菌に焦点を当て、腐朽木材から分離した菌株ごとに、生育温度や木材分解力を示し、木材腐朽菌の多様な姿を紹介した。また、木材腐朽を予防するための木材保存剤の活用等についても解説した。

キーワード：木材腐朽、分離菌株、生育温度、木材分解力、木材保存剤